

基本方針（案）

未来の力共育委員会
委員長 土田 俊宏

現在、私達は飽食の時代を生き、現代病とも言える子供たちの肥満、糖尿病、食物アレルギーなど食生活習慣の乱れが引き起こす病が蔓延しております。これは、私達が風土、文化を無視し、食育というものを疎かにした結果でもあるのです。体育、徳育の根源も食育にあるというように、食育は健やかな心身の育成に不可欠なものであります。ゆえに、食育、風土、文化を通して道徳心を養うことが必要なのではないのでしょうか。

今年度、未来の力共育委員会は、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間育成を推進してまいります。この人間育成を推進するために、私達は、地域の方々と協力し、子供たちと共に、西村山の自然の恵みから生まれる「いのち」に触れ合い、その有難みを理解していきます。そして、この世に存在する「いのち」すべてに共通する摂理を学ぶことで、豊かな自然の下で先人から育まれてきた地域の多様性と豊かな文化に触れることができるはずです。

また、私達は、道徳心を養い、それを行動に移している子供たちに対して、自信と誇りを与え、次世代に引き継ぐ責任があります。そして、地域への思いやりがもたらす活動や地域の文化向上を目指した活動を評価し、その価値を高めなければなりません。そのためにもメディアを利用し、この地域の誇りである活動を、より多くの方々に発信、認識してもらう必要があります。それが、子供たちにとって自信と誇りになり、より一層逞しい人間形成が達成されるはずです。

自然や風土と触れあう経験を通して食育を学ぶことで、精神の成長と道徳心を育む教育が達成され、揺ぎ無い道徳心を持った子供たちが、未来の担い手となり、明るいまちの未来を創造することに繋がると確信しております。